

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
平成11年11月29日 第35報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体系数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Chroococcus dispersus</i> var. <i>minor</i> *	10		
(藍) <i>Aphanizomenon</i> sp.*	14		
(藍) <i>Oscillatoria</i> sp.*	20		
(黄鞭) <i>Pseudokephyrion gallicum</i>	10		
(黄鞭) <i>Pseudokephyrion</i> sp.	10		
(黄鞭) <i>Chromulina</i> sp.	10		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	110		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	70		
(珪) <i>Fragilaria capucina</i>	18		
(珪) <i>Synedra acus</i>	4		
(珪) <i>Acnantes minutissima</i>	20		
(珪) <i>Navicula</i> sp.	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	100		
(褐) <i>Rhodomonas lens</i>	20		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	180		
(緑) <i>Schroederia judayii</i>	10		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	16		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	7		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	130		
(緑) <i>Staurastrum pingue</i>	1		
(藍) 藍藻綱	44	5.7	6.6
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	30	3.9	0.2
(珪) 珪藻綱	232	30.1	4.4
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	300	39.0	4.1
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	164	21.3	84.8
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	770	総体積	5.0E+06
種 類 数	20	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体系数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

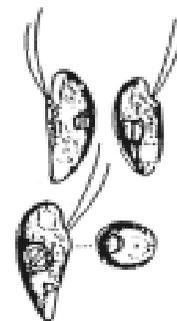
動物プランクトン

第 1 優 占 種	個体数 (個体/l)
輪虫類 <i>Polyarthra vulgaris</i>	300

第 2 優 占 種	個体数 (個体/l)
輪虫類 <i>Synchaeta oblonga</i>	80

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

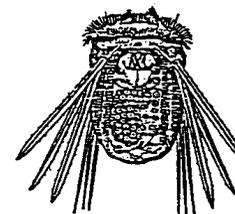
植物プランクトン第1優占種



***Rhodomonas* sp.**
(ロードモナス)
褐色鞭毛藻綱

細胞は、長楕円で長さが約10 μm と
小型であり、葉緑体は少し赤みをおび
ている。
2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種



Polyarthra vulgaris
(ハネウデワムシ)
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物
が4ヶ所付いている。
前部に2本の触角がある。

コメント:
植物プランクトンは、アファニゾメノンが減少した。緑藻のスタウラストルム、ドルシデンティフルム変種オルナーツルムが増加してきた。この種は日本では琵琶湖と阿寒湖に見られるだけである。琵琶湖では1961年頃から増加がみられるようになった。動物プランクトンはハネウデワムシが最も多かった。